

腫瘍医学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Dotsu Y, Muraoka D, Ogo N, Sonoda Y, Yasui K, Yamaguchi H, Yagita H, Mukae H, Asai A, Ikeda H: Chemical augmentation of mitochondrial electron transport chains tunes T cell activation threshold in tumors. *Journal for immunotherapy of cancer* 10(2): 2022. doi: 10.1136/jitc-2021-003958. (IF: 10.9)
2. Nagata Y, Kageyama S, Ishikawa T, Kokura S, Okayama T, Abe T, Murakami M, Otsuka K, Ariyoshi T, Kojima T, Taniguchi K, Kobayashi S, Shimada H, Yajima S, Suzuki T, Hirano S, Tsuchikawa T, Shichinohe T, Ueda S, Kanetaka K, Yoneda A, Wada H, Doki Y, Yamaue H, Katsuda M, Ohi M, Yasuda H, Kondo K, Kataoka M, Kodera Y, Koike M, Shiraishi T, Miyahara Y, Goshima N, Fukuda E, Yamaguchi K, Sato E, Ikeda H, Yamada T, Osako M, Hirai K, Miyamoto H, Watanabe T, Shiku H: Prognostic significance of NY-ESO-1 antigen and PIGR expression in esophageal tumors of CHP-NY-ESO-1-vaccinated patients as adjuvant therapy. *Cancer Immunology, Immunotherapy* 71(11): 2743-2755, 2022. doi: 10.1007/s00262-022-03194-5. (IF: 5.8)
3. Ishihara M, Kitano S, Kageyama S, Miyahara Y, Yamamoto N, Kato H, Mishima H, Hattori H, Funakoshi T, Kojima T, Sasada T, Sato E, Okamoto S, Tomura D, Nukaya I, Chono H, Mineno J, Muhammad Faris Kairi, Phuong Diem Hoang Nguyen, Yannick Simoni, Alessandra Nardin, Evan Newell, Michael Fehlings, Ikeda H, Watanabe T, Shiku H: NY-ESO-1-specific redirected T cells with endogenous TCR knockdown mediate tumor response and cytokine release syndrome. *Journal for immunotherapy of cancer* 10(6): 2022. doi: 10.1136/jitc-2021-003811. (IF: 10.9)
4. Yoshinako Kubo, Kiyoshi Yasui, Mai Izumida, Hideki Hayashi, Toshifumi Matsuyama: IDO1, FAT10, IFI6, and GILT Are Involved in the Antiretroviral Activity of γ -Interferon and IDO1 Restricts Retrovirus Infection by Autophagy Enhancement. *Cells* 11(14): 2240, 2022. doi: 10.3390/cells11142240. (IF: 6)
5. Okumura S, Ishihara M, Kiyota N, Yakushijin K, Takada K, Kobayashi S, Ikeda H, Endo M, Kato K, Kitano S, Matsumine A, Nagata Y, Kageyama S, Shiraishi T, Yamada T, Horibe, Takesako K, Miwa H, Watanabe T, Miyahara Y, Shiku H: Chimeric antigen receptor T-cell therapy targeting a MAGE A4 peptide and HLA-A*02:01 complex for unresectable advanced or recurrent solid cancer: protocol for a multi-institutional phase 1 clinical trial. *BMJ Open* 12(11): e065109, 2022. doi: 10.1136/bmjopen-2022-065109. (IF: 2.9)

B 邦文

B-c

1. 池田裕明,他共著: がんに対する宿主免疫応答p11-18. 必修!腫瘍免疫学, 金原出版株式会社: 2022.
2. 池田裕明,他共著: 遺伝子導入T細胞による養子免疫療法 p532-537. 医学のあゆみ 281(5), 医歯薬出版株式会社: 2022.
3. 池田裕明,他共著: がん細胞の遺伝子変異を認識する腫瘍浸潤リンパ球のTCRレパトアと認識抗原解析に基づく効果予測法の確立と、同定TCRによる革新的な個別がん免疫療法の開発 P44. 次世代がん医療創生研究事業 成果報告集, 日本医療研究開発機構: 2022.
4. 池田裕明,他共著: 遺伝子改変免疫細胞療法の進展 p250-257. 腫瘍内科.29(2), 科学評論社: 2022.

B-e-2

1. 中司交明,村田大輔,安井 潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,永安 武,池田裕明: CHPナノゲルの標的分子の検索と、腫瘍関連マクロファージを標的とする新規免疫療法の開発. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第26回: 90, 2022.
2. 安井 潔,岡田怜美,江原大輔,魚谷周平,森 爽太,岡本幸子,峰野純一,村岡大輔,江口 晋,室田浩之,池田裕明: 腫瘍不均一性の克服へ向けた「ステルスT細胞」を用いたがん免疫療法の開発. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第26回: 135, 2022.
3. 道津洋介,村岡大輔,園田祐大,小郷尚久,浅井章良,八木田秀雄,迎 寛,池田裕明: ミトコンドリア電子伝達系を介してT細胞の活性化閾値を改善する新基軸代謝化合物を用いたがん免疫療法の開発. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第26回: 95, 2022.
4. 影山慎一,宮原慶裕,石原幹也,岡本幸子,戸村大介,糠谷育衛,蝶野英人,峰野純一,渡辺 隆,池田裕明,珠玖 洋: NY-ESO-1/TCR-T細胞輸注後のサイトカイン放出症候群に関連するT細胞特性. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第26回: 132, 2022.

5. 永田康浩,影山慎一,宮原慶裕,山田知美,大佐古昌治,宮本 博,渡辺 隆,池田裕明,珠玖 洋 : CHP-NY-ESO-1の臨床効果とPIGR遺伝子発現および抗原特異的IgAの関連-食道癌術後補助がんワクチン臨床試験の探索的研究より-. 日本がん免疫学会総会プログラム・抄録集 第26回: 138, 2022.
6. : Harnessing TCR-T therapy to overcome personalization and tumor heterogeneity. 日本遺伝子細胞治療学会学術集会プログラム 第28回: 24, 2022.
7. 村岡大輔,道津洋介,小郷尚久,園田雄大,八木田秀雄,松下和博,浅井章良,池田裕明 : ミトコンドリア電子伝達系活性化化合物は腫瘍浸潤 T細胞の活性化閾値を改善し抗腫瘍効果を導く. 日本癌学会総会記事 第81回: 211, 2022.
8. 安井 潔,岡田怜美,江原大輔,岡本幸子,峰野純一,村岡大輔,江口 晋,池田裕明 : 腫瘍不均一性の克服に向けた「ステルス T細胞」を用いたがん免疫療法の開発. 日本癌学会総会記事 第81回: 188, 2022.
9. 江原大輔,山口小百合,安井 潔,村岡大輔,岡本幸子,峰野純一,室田浩之,池田裕明 : 免疫細胞死誘導剤(IDI)による腫瘍不均一性を克服する養子免疫療法の開発. 日本癌学会総会記事 第81回: 188, 2022.
10. 中司交明,村岡大輔,安井 潔,原田直純,澤田晋一,秋吉一成,永安 武,池田裕明 : がん免疫療法における腫瘍関連マクロファージを標的とする DDS である「CHP ナノゲル」の標的分子の同定. 日本癌学会総会記事 第81回: 242, 2022.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
1	0	0	3	0	8

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
池田裕明・教授	副理事長	日本がん免疫学会
池田裕明・教授	財務委員	日本遺伝子細胞治療学会
池田裕明・教授	Cancer Science Associate Editor	日本癌学会
池田裕明・教授	科学研究費委員会専門委員	日本学術振興会
池田裕明・教授	評議員	日本癌学会
池田裕明・教授	理事	日本がん免疫学会
池田裕明・教授	評議員	日本遺伝子細胞治療学会

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
池田裕明・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「非自己デザイナー細胞による難治性腫瘍に対する免疫細胞療法の開発」
池田裕明・教授	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽) 「バイスタンダー効果を増強する新規化合物による腫瘍不均一性を克服するがん免疫療法」
池田裕明・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	革新的がん医療実用化研究事業 「MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験」
池田裕明・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	分担	先端的バイオ創薬等基盤技術開発事業 「難治性がんを標的とした先端的がん特異的抗体創製基盤技術開発とその医療応用」
池田裕明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「標的抗原欠損バリエーションを含む腫瘍に対する効果的な新規細胞輸注療法の開発」

池田裕明・教授	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 「免疫逃避機構を付与したデザイナー細胞を用いた新規移植療法の開発」
池田裕明・教授	文部科学省	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 「抗原性を消失させたユニバーサルヒト骨格筋芽細胞のセルバンキングの構築に関する研究」
安井 潔・助教	日本学術振興会	代表	科学研究費助成事業 基盤研究(C) 「免疫逃避機構を付与したデザイナー細胞を用いた新規移植療法の開発」
安井 潔・助教	日本学術振興会	分担	科学研究費助成事業 基盤研究(B) 「標的抗原欠損バリエーションを含む腫瘍に対する効果的な新規細胞輸注療法の開発」
池田裕明・教授	タカラバイオ株式会社	siTCR技術を用いた、がんに対するT細胞輸注の開発	
池田裕明・教授 安井 潔・助教	三重大学	難治性がんに対する先端的ながん免疫療法の開発	

特 許

氏名・職	特 許 権 名 称	出願年月日	取得年月日	番号
池田裕明・教授	リンパ球機能亢進剤、リンパ球介在型がん治療法の治療剤との併用剤、及びリンパ球のミトコンドリア機能亢進剤	2021年12月16日	取得	特願2021-203972

その他

非常勤講師

氏名・職	職 (担当科目)	関係機関名
池田裕明・教授	非常勤講師 (生化学)	島根大学医学部
池田裕明・教授	非常勤講師 (歯科東洋医学)	長崎大学歯学部

新聞等に掲載された活動

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
池田裕明・教授	難治性固形がんに対する先端的CAR-T細胞療法に関する研究開発	科学新聞	2022年1月1日	がんに対する新しい免疫療法の開発について説明を行った
池田裕明・教授	免疫細胞検出に新技術	富山新聞	2022年4月1日	富山大学で開発の新型がん免疫療法について説明を行った